

コウノトリ文化館便り

コウノトリ文化館のホームページで
リアルタイムの情報を発信しています

<https://kounotoribunkakan.com>

<https://www.facebook.com/kounotoribunkakan/>

https://www.instagram.com/toyooka_stork_museum/



7月のコウノトリ



7月もヒナの巣立ちは続きます。豊岡では6月21日赤石巣塔を皮切りに、14巣塔から30羽を超えるヒナが巣立つ予定です。祥雲寺のヒナも翼を上手に広げられるようになってきました。

7月の郷公園



数年前から観察広場から見える山で繁殖をしているアオサギのヒナ達も巣立ち時期を迎えます。まだ頭のボサボサ感が少し残っていて、幼さが残っています。ちょっとくすんだ感じも幼鳥らしいですね。

今月の生きもの



オオムラサキホコリ 2cmを超える大型の変形菌で、群生し大きなコロニーを作ることが多く、歩いていても目視で発見できる。

変形菌(粘菌)の仲間

変形菌の仲間は、一年を通して季節や場所によって、いろいろな種類を見ることができますが、梅雨が明ける7月は特に賑やかに発生する季節です。今回は、コウノトリの郷公園内で7月に実施した観察会などで撮影された写真から集めてみました。



ホソエノヌカホコリ 高さ3mm程度まで。細い柄の先のカップ状の杯状体からモフモフの細網体。もっとも普通種。



オジギアミホコリ 細長い柄の先に首をかしげるように子嚢が乗っている。高さ4mm程度までで目視での発見は困難。



ツノホコリとツヤエリホコリ 純白のツノホコリ(5mm程度まで)と金属光沢が美しいツヤエリホコリ(3mm程度まで)のコラボレーション。



コモチクダホコリ 擬着合子嚢体型で、付け根の部分に小さな子嚢がみられるのが和名の由来。高さ8mm程度まで。



キウツボホコリ 枯れ木に黄色い羊毛が付いているように見える。成熟して細網体が伸長する長さが2cm以上になる。

7月の行事

7月6日(日)
キノコ・粘菌観察会

森の宝石さがし

時間：9時30分～

参加費：無料

※要事前申込

7月13日(日)
ヒメイトトンボ調査

時間：9時30分～

参加費：無料

※要事前申込

7月20日(日)
田んぼの学校

小川の生きものさがし

時間：9時30分～

参加費：子ども100円

当日参加可能

7月19日(土)

**コウノトリ
ふれ愛コンサート**



7/19 SAT
17:30～18:45
豊岡市立コウノトリ文化館
(多目的ホール)
入場無料

6月のトピックス

キノコ・粘菌観察会 6/1

参加者：16名 スタッフ：1名
ウツギの白い花が満開の中での観察会となりました。見つかったのは、サルノコシカケや小型キノコ類が中心でした。変形菌はホソエノスカホコリが見つかりました。



コウノトリ野鳥観察会 6/8

参加者：2名 スタッフ：1名
旅の途中に立ち寄られた方を、ゆっくりと園内をご案内しました。祥雲寺巣塔で親鳥がヒナに餌を与える様子を観察したり、羽化したばかりのハッチョウトンボの観察もしました。



ホタルのゆうべ 6/13

今年も多くの方々が参加してくださいました。約300名もの参加があり、オープニングではホールからエントランスに人が溢れました。ホタルの方は、例年より少なめでした。



田んぼの学校 6/15

参加者：32名 スタッフ：5名
ビオトープの生き物を観察しました。モリアオガエルの卵塊を見たり、アカハライモリを捕まえました。合計19種類の生き物が見つかりました。



放鳥20周年記念イベント 6/14～22

6/15に「はしもとみお×村田浩一トークセッション 生きものたちとつながり、くらす」が開催されました。館内では「はしもとみお木彫展」が6/22まで開催されました。



植物観察会 6/22

参加者：3名 スタッフ：1名
6月は神鍋溶岩流で観察しました。花はほぼない時期ですので、草木の葉を中心に様々な植物を観察しました。合計29種の植物を観察しました。



豊岡市立コウノトリ文化館 (指定管理: NPO法人コウノトリ市民研究所)

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日にあたるときはその翌日) 入館無料(環境協力金100円・任意)

〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005 <https://kounotoribunkakan.com>

コウノトリ文化館は兵庫県立コウノトリの郷公園内にある、豊岡市立の見学施設です。